

社会資本整備審議会道路分科会

第35回東北地方小委員会

【議事録】

○議事

1) 計画段階評価

・下北半島縦貫道路 野辺地～七戸

浜岡委員長 それでは議事に入ります。本日の議事は、下北半島縦貫道路、野辺地～七戸について事務局より資料の説明をしてもらい、その後、質疑応答を行うという流れで進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

一戸事務所長 それでは、資料1で説明いたします。2ページをご覧ください。

今回の対象となる区間は、図2に示しております下北半島縦貫道路の整備済み区間終点の野辺地ICから、東北縦貫自動車道八戸線接続までの『野辺地～七戸』間約7kmです。なお、下北半島縦貫道路は一部の区間が開通しており、東北縦貫自動車道八戸線を構成する『天間林道路』は、令和4年内に開通する予定です。

3ページをご覧ください。前回の審議内容、指摘と対応状況です。

主な指摘事項は3点ありました。

「事業者の意見聴取の方法」についての指摘事項は、『担当者の個人意見ではなく、企業としての回答が得られるように工夫すること』でした。これについては、調査票へ「企業としての回答をお願いいたします」と記載しております。

「事業者ヒアリング先の追加検討」は、『むつ市内の事業所や下北ジオパークの事務局等へのヒアリング実施の検討』でした。これは事業所ヒアリング調査の調査先として、むつ市の物流事業者やむつ市ジオパーク推進課を追加しております。

「道路計画」についての指摘事項は「地吹雪を考慮した道路計画の検討」でした。意見に対応して、地形条件などを勘案した道路計画の検討を実施しております。

4ページは、計画段階評価の進め方についてです。今回の委員会で審議いただいた内容をもちまして、対応方針（案）を決定したいと考えております。

続きまして、6ページは地域の意見聴取の結果です。

意見聴取は、3月10日から5月5日にかけて、表1～3に示す方々や企業を調査対象者に、表中に記載の調査方法で実施しました。表中の赤字は、前回指摘を頂き、追加した団体などになります。

7ページは、アンケート調査の回収状況です。

地域住民アンケートは、基本的に前回と同様、野辺地町など3町には広報紙折り込みで全戸配布し、青森市など5市町へは抽出配布を行いました。

その他、WEBや留め置きでの実施も合わせると、全体の回収数は約1万200票となり、広報紙抽出配布における世帯単位での回収率は15%でした。

『事業所等へのアンケート調査』は143の事業所から75票の回答を頂きました。なお、参考として資料最後の32ページに、自治体ごとの回収状況を掲載しております。

8ページは、第2回意見聴取に対する広報の実施状況です。

全戸配布の3町に対しましては、前回提案したとおり、町の広報誌やチラシとの差別化として個別の封筒に入れ、さらには、町長から町民向けの協力依頼ペーパーを同封いたしました。

9ページは、さらに回収率を上げる工夫として、『ガソリンスタンドへのチラシ配布』、『各自治体のSNS等を活用した広報活動』などを実施しました。

また、青森河川国道事務所からSNSでの発信を行ったこと、アンケート期間中に地元紙にアンケートに関する記事が掲載されたことから、地元の方々へアンケートを知っていただく機会を増やすことができたと考えております。

10ページは、「ヒアリング調査の実施状況」です。表1のとおり、アンケート調査と同じ項目について、表2にある自治体や関係団体から回答が得られました。また、表2の赤い四角で困っている企業は、今回追加した団体になります。

11ページは、「地域住民、事業者へのアンケート結果」です。

地域住民アンケートの回収状況は、地元の3町分が4割となりました。事業者アンケートの地元割合は4割を占めております。

12ページは「属性のまとめ」、13ページは、「利用状況」で資料のとおりです。

14ページは、「重視すべき項目」です。地域課題として設定していた3つの事項が今回も高い値となりました。特に、住民、事業者ともに「冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること」が多い結果となっています。事業者アンケートでは、『冬期でも事故が少なく、安全・快適に走行できること』や『通行止めリスクの低い安定した物流ルートが確保されること』の選択する割合が住民アンケートに比べて高い結果となっています。

15ページは、住民・事業者アンケートによる「重視すべき項目に対する理由」です。物流に関して、「冬期をはじめとした通行障害リスクの低減」の視点から『複線的なルートの確保が必要。冬期間は通行止めのリスクがある。』や『通行止めのリスクが低いのは、重視すべき。災害の多い昨今、物流のルート確保は重要。』などの意見をいただきました。

観光については、「下北・上北地域へのアクセス性向上」の視点から『下北へ繋がる道路があることで、観光客が下北地方へ足を運びやすいと思う。』などの意見をいただきました。

走行環境に関して、「地吹雪や凍結等に対する冬期安全性、走行性向上」の視点から『地吹雪等で運転に支障がある。』や『ホワイトアウトが発生するなど、厳しい環境なので安全に走行できる道路として頂きたい。』などの意見をいただきました。

16ページは、「その他の意見」です。その他の意見として、線形不良の改善や道路幅員など『道路構造・施設・設備に関する意見』が多く寄せられております。また、みちのく有料道路など周辺道路との接続に関する意見が寄せられております。その他、『別線整備による維持管理費の増加も十分に考えられる。』、『現道路の全面4車線化等のほうが地域の活性化になるのではないか。』など整備方針に関する意見をいただきました。

一方、『道路ではなく、コロナ対策にお金をかけるべき。』や『開通した後の経費、維持費がかさむのではないのでしょうか。』など道路整備に否定的な意見もいただきました。

17ページは、企業・関係機関ヒアリングになります。「重視すべき項目に対する理由」ですが、物流に関して、『冬期通行止めによる企業活動、サプライチェーンへの影響』等について意見をいただきました。

観光に関しまして、『移動時間短縮による、観光客の増加や観光地の滞在時間の増加への期待』等について意見をいただきました。

走行環境に関して、『通行止め時の代替性の確保』や『冬期視界不良、凍結時の安全性の確保』等について意見をいただきました。

また、その他、『土木事業費の費用を抑え、他に回すべき』との意見もいただきました。

18ページは、「その他の意見」です。企業・関係機関ヒアリングでのその他の意見としては、『東北縦貫道の供用部分と天間林道路との連続性を考えると、別線整備としたほうが自動車専用道として一定の走行環境、速度を確保できる。』などの意見が寄せられました。また、『コスト面や自然環境への影響を考慮すれば、現道改良ルートが妥当』という意見もいただいております。

19ページは、ルート帯選定時に重視すべき項目です。多数の意見が寄せられた赤囲みの3点に寄与する道路が求められており、計画検討にあたり配慮すべき項目として、「工事に伴う規制の影響が少ないこと」など、3点が求められております。

続いて、21ページは、対応方針の検討についてです。

今回の政策目標は、前回の委員会で設定した3項目であり、安全かつ快適な移動の実現を図ると共に、物流、観光振興を支援する道路ネットワークの確保をすることを目標としました。また、ルート帯を検討する上での配慮事項は、生活環境などの5項目としました。

22ページは、主要なコントロールポイントに配慮し設定した2案です。

【A案】は別線整備案で、バイパスにより、現道課題の解消を図るものです。

【B案】は現道改良案で、現道の4車線拡幅および一部別線整備により、現道課題の解消を図るものです。

また、2案の断面図につきましては、参考資料4の第2回計画段階評価資料の35ページ、36ページに記載しておりますのでご覧ください。

続いて、23ページは、2つの案に対する比較と評価を一覧表で整理したものです。

政策目標の3つの視点では、『全線が別線で整備されることにより、災害・事故による通行止め時に代替機能が確保される』などでA案のほうが優れております。

配慮すべき事項の「現道沿線住民への影響」の視点では、A案のほうが『現道の交通が減少するため、生活環境が改善される』点で優れております。

24ページは、対応方針（案）です。今回のアンケート、ヒアリング調査の結果、ルート帯案について、先ほどの地域課題に関する3項目の意見が多く寄せられました。それらを踏まえて評価すると、ルート帯案の考え方として、地域の課題を解決するための政策目標であるこの3項目に寄与し、対応策として優れているA案の別線整備案を対応方針の原案に設定すべきと考えました。

なお、本日設定される案に応じて、下北、上北、青森の3地域の相互の連絡性を向上するため、接続方法を検討してまいります。

続いて、「各自治体への意見照会結果」について説明します。

26ページは青森県、27ページ以降が地元3町に照会したものの回答で、いずれも対応方針（案）について同意しますという回答をいただきました。

続いて、「対応方針（案）のまとめ」について説明いたします。

31ページは、『道路整備の必要性』と『対応方針（案）』です。3項目の政策目標、それに対して地域の意見聴取の結果を整理しましたが、この地域課題の解決という点からも対応策として優れているのは、A案の別線整備案であると評価できます。

理由としては、1点目は政策目標を達成するという点。2点目として意見聴取の結果で得られた地域のニーズに応えられる。3点目は、別線整備案のほうが、工事期間中の現道交通への影響が少ないため、工事期間中の幹線道路機能確保の面でも優れているためです。

また、周辺道路との接続については、各路線特性や周辺交通需要を踏まえた上での構造を検討してまいります。

以上のことから、計画及びルートについては、A案の別線整備案といたし、提案します。

なお、冒頭でも説明いたしましたが、地吹雪に対する考慮について、断面図にあるような盛土構造による地吹雪軽減効果に合わせまして、防雪柵を設置する方向で検討をしております。その際、事業中の天間林道路での設置状況や野辺地～七戸間での調査結果を考慮していきたいと考えております。また、事業費については防雪柵設置分を計上しています。

資料での説明は以上になりますが、引き続き現地の状況をドローン画像で説明します。画像が出るまで、資料1の32ページでポイントを説明します。終点側の天間林道路接続予定箇所と中間部、起点部、3地点につきましてドローン画像で説明します。

こちら、七戸のところですが、正面に捉えますのが天間林道路です。左右に国道4号、手

前がみちのく有料道路につながる県道です。正面が交差点部です。ここが平野部で広いことから、地吹雪地帯になっております。北に向かっております。

ここからは国道4号が奥に見えまして、左側は森林地帯となっております。少し水田もございりますが、このような山の裾という場所です。

続いて、中間部よりやや野辺地寄りになります。国道4号がありまして、北を向いております。国道4号とルート帯案が一番近い部分です。こちらは南北に開けておりまして、左右に山が迫っている谷地形となっております。北を向いております。

この次に、起点側の野辺地ICが出てまいります。下北半島縦貫道路の完成している部分で、奥に陸奥湾が見えます。国道4号方面、南を向いております。

先ほど見ていただきました病院が左側、清水目という集落が右側に広がっております。先ほど申し上げましたように、中間部は左右に山がありまして、南北方向に開けたような形の谷地形となっております。

説明は以上となります。よろしくご審議をお願いいたします。

浜岡委員長 説明ありがとうございました。それでは、ただいま説明いただきました内容につきまして、質問や意見などがありましたらよろしく願いいたします。

吉田委員 ドローンの空撮で見せていただいたA案のルート周辺は、国道4号に沿って田んぼが広がっていますが、田んぼが圃場整備されていないように見えたため、農家の方々の営農意欲が気になりました。実際にバイパスを作るとすると田んぼに影響するようになるのでしょうか。それとも山側になるのでしょうか。もし差し支えなければ教えてください。

一戸事務所長 32ページの対応方針(案)の図ですと、今おっしゃっていただきました起点部のところまで下北半島縦貫道路が既に完成しておりますので、ここにつなげる必要があります。ここから、A案の場合ですと集落などを避けるような形で検討しており、集落の近くに耕作地がありますので、ここをいくつか買収対象にするということになります。

また、見ていただいたところはわりと中間部は開けた場所となっておりますが、ここから南側、32ページの家ノ下あたりから左側は、最初に見ていただいたように森林が覆っているような地域もあり、一部原野や森林地域もあります。

東北町の町長や建設課長と話をしましたが、先ほど吉田先生がおっしゃったように圃場整備をしたところでもなく、放棄しているところも多くあるようで、協力していただけるのではないかとこの感触のことを聞いております。

吉田委員 ありがとうございました。

浜岡委員長 ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

川崎委員 今の吉田先生の意見と関連しますが、今回A案を選定するに当たって周辺のかなり広域的な住民の方のご意見ですとか、あるいは関連の企業ですとか、非常に多くの方のご意見を聞きながら選定されていると思います。さらに関連の自治体の意見照会も行って、肯定的な意見・同意をいただいているわけですが、今の吉田先生の意見は、田んぼなどの観点からのお話でしたが、このエリアのゾーニングされた中に集落が多く、今回のアンケートは広域的な単位でやられたわけですが、実際に具体的な線形を決めるに当たっては、こういった集落の方々との協議や同意が必要になると思いますので、丁寧に進めていただければと思います。

浜岡委員長 ぜひともよろしく願いいたします。

一戸事務所長 承知いたしました。先ほど申し上げましたように、地元の町長や役場の方々とも話をしております。各自治体の方々もそうですし、東北町も整備箇所から市街地が離れていて、道路整備なども遅れているので、今回の私どもの道路整備に伴いまして町道の整備なども併せてしていきたいと、地元から要望も出ているとお聞きしております。今後調整しながら進めていきたいと考えております。

浜岡委員長 ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。高樋委員、青森のお話でございますので、ぜひともご意見をいただきたいのですが。

高樋委員 この道路は青森八戸及び下北地域をつなぐ交通の要となっているところなので、早急に整備していただきたいというのが地元の意見です。さらにこの道路ができることによって、関連する道路、例えばみちのく有料道路ですとか、八戸も合わせ交通ネットワークとして早急に整備していただきたいという要望があります。こういう道路ができることによって周辺の市町村の人たちには、この道路を活用して新たなるまちづくり的な話も進めていただければと思っております。すごく期待しております。よろしく願いいたします。

浜岡委員長 ありがとうございます。小野澤委員からも何か一言いただけないでしょうか。

小野澤委員 地理的な状況がわからないので1つだけ再確認ですが、今、高樋委員がおっしゃっていたように、大きな道路が分岐する場所で、ここの接続がよくなるのが青森や岩手からの利用者にとっては非常に重要だと思いますが、32ページを見ますと、現状では、国道4号以外に幹線道路に当たるような道路がない、代替道路がない状態です。今回

のバイパスができることで冬期の通行止めですとか、あるいは事故時や災害時の複数ルートというような安全性の向上にも貢献できると思いますが、この国道4号以外に主要道路というか、迂回して同様な行き来ができるような道路があるのか、少し広い範囲も含めて、そういった点で今回要請が高いと思いましたが、その点確認させていただければと思います。

一戸事務所長 この周辺で、32ページの下側に県道の緑ルートがありますが、大型車両は通れないため、国道4号しかないような状態です。そのため、物流企業などから、物流のためにリスクを考えてもう1本、という意見が多かったのはそういう点からです。

また、周辺の高規格道路は、上北天間林道路まで開通しておりますが、このような道路の整備に伴いまして、ちょうどこの区間の国道4号の大型車両の割合が多くなっているのが現状で、地元の住民から大型車両がいると、やはり冬期、今年は雪が多かったのですが、スタック車両が発生してしまいますので、大型車両を減らすようにしてほしいと行政からも強く求められております。

小野澤委員 すごくよくわかりました。必要性が高いということで、整備の必要があると理解しました。

浜岡委員長 ありがとうございます。

私から質問というか、コメントになりますが、ドローンの映像は非常に良いと思いました。私自身、秋田におりまして、野辺地あたりの地理に疎いのですが、映像で見ることができたのはイメージが湧くというのでしょうか、状況が理解しやすいです。これは非常に良いことですので、次からもぜひこのような映像を加えていただければと思います。

また、新規の計画につきましても、現道の問題を必ず説明くださると思いますが、その際にドローンからの映像、もしくはドライバー目線からの映像を加えていただけると現状の理解が非常に深まると思いますので、ぜひともよろしく願いいたします。

確認事項になるのですが、23ページで、A案とB案で優劣を見比べていきますと、政策目標である産業・物流、観光、交通についてはA案が秀でていて、B案は、メリットはあるけれど、それほどではないという状況でした。

配慮すべき事項のところに、B案は沿道集落から本線へのアクセスに優れるところがあって、また自然環境についてもA案よりB案がやや良いという状況であるということを確認しました。

住民アンケートに移りますと、先ほどの項目の並びと順番は一緒でして、上から3つが政策目標に関わるところで、該当する件数が5,895件、5,752件、8,190件ということで非常に多く、やはりA案のほうが優れていると思いました。一方で、B案が優れているところもあるのですが、それについてはアンケート結果では1,807件、2,

216件で、B案のほうが良いと答えてくれた方もありますが、それほど多くないので、これで見てもA案で進めていくということはしっかりしていると感じましたので、問題はないと思います。

1つ気になりましたのは、この区間ですが、八戸方面から天間林道路という自動車専用道路ができて、下北半島縦貫道路が続き、一般道路の国道4号2箇所合流分岐するのですが、そのあたりが渋滞しないように作れるかということについて教えていただきたいのですが、よろしくお願いします。

一戸事務所長 32ページですと、先生がおっしゃっているのは天間林道路の点線が完成した際の交差点処理ということだと思います。これについては、青森県知事の回答の26ページにありますが、緑が県道になりますので、青森県と今後調整をしていくこととなります。今回の私どもの整備に当たりまして、回答文書のアンダーラインの下、青森県としては当該区間の整備効果を早期かつ確実に実現するために、青森地域と下北地域を結ぶネットワークにより地域活性化を図るものとして、みちのく有料道路前後の県道区間の機能強化に取り組むとされています。説明の中でも触れましたように、交差点処理につきまして今後青森県と結節点のあり方について詰めるところです。

私どもの方針がA案かB案かによってケースも違うということで、今日の結果をもちまして至急相談をするということで考えております。

浜岡委員長 ありがとうございます。もう少し教えてください。インターチェンジですが、天間林道路と下北半島縦貫道路は信号機もなくひと続きで移動できる予定ということでしょうか。

一戸事務所長 A案になりましたらそのような形になると考えております。

浜岡委員長 わかりました。それで、終点のところですが、国道4号はランプということでしょうか、インターチェンジのような形で新しい道路に接続されるということでしょうか。

一戸事務所長 国道4号についてはそのような形で考えてございます。

浜岡委員長 緑色の線はどのようにつながるのでしょうか。

一戸事務所長 先ほど先生や高樋委員からもありましたように、みちのく有料道路も東北縦貫自動車道八戸線を構成する路線になっておりますので、その部分について、先ほど青森県知事の文書にありましたように、機能強化を図っていくと表現をされていますので、

今後私どもの案を提示して、県道方向、みちのく有料道路方向の整備をすることについて、調整をしていきたいと考えております。

浜岡委員長 よろしく申し上げます。新しい道路を作るというのは非常に良いことなのですが、その結果渋滞が激しくなったということが起きてしまうことはあってはならないことですので、ぜひともしっかりとチェックをお願いしたいと思います。ありがとうございました。

そのほか、今の議論を聞きながらお気づきのことはありませんでしょうか。

小林委員 前回の委員会でこちらのほうから出させていただいたアンケート、ヒアリングの対象拡大についてきちんと取り組んでいただいて、ヒアリング結果も非常に充実したものになったのではないかと思います。その点についてはお礼を申し上げたいと思います。

それから、既に意見が出ていますが、このエリアは地吹雪でホワイトアウトになり通行止めもよく発生するところなので、A案、B案とありましたが、私は個人的には、A案で複数ルートを作ったほうが、通行止めが仮に発生したとき、あるいは何らかの事故が発生したときの代替ルート確保という意味では、住民の生活の確保と物流の確保両面からより効果的なのではないかと考えています。

それから、委員長からもありましたが、国道4号と天間林道路の結節点は非常に重要なポイントになると思います。ここは、私は専門外なのですが、通常のカーブよりも冬場の凍結とか地吹雪のことを考えると緩やかなカーブになるとか、その辺の対応を図っていただいて、冬場でも安心して安全でスムーズに合流できるような設計にぜひお願いしたいと思います。

それから最後に、地元の方々からも観光へのインパクトがあるのではないかという話を頂戴していましたが、こういう言い方はあれですが、地域高規格道路ができたからといって観光客が必ずしも増えるわけではなくて、もちろんこういうところのルートも必要なのですが、地元の観光資源の磨き上げがない、魅力がないと、なかなか降りてそこを観光しようという形にはならないので、そこはぜひ地元の方々に道路ができて良かったではなくて、これがきっかけになって、観光だけではないのですが、地域の活性化になるような施策をぜひ考えていただければ。これは道路とは別な話ですが、そういう思いでおります。

浜岡委員長 小林委員、どうもありがとうございました、非常に重要なご指摘を掲げていただきました。

そのほか皆様方、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、今までの皆様の意見をまとめますと、A案、B案という2つの選択肢の中でA案という原案に対してどれも否定的なものではなくて、それが整備されたときにどのような状況になるか、渋滞しないのか、また整備すること自体はネットワーク上、非常に意

味がある、ということなど前向きな言葉が多かったのではないかと考えております。

ということで、この原案に関して概ね妥当と結論づけをしたいと思うのですが、皆様方がいかがでしょうか。よろしいでしょうか。どうもありがとうございます。

それでは、皆様方の了解も得ましたので、概ね妥当ということ結論としたいと思います。ありがとうございました。

それでは、これで計画段階評価についての審議が終わりましたが、全体を通して何かありますか。

ドローンは皆様方も本当によかったですね。これは少し負荷をかけることになるかもしれないですが、理解を深めるというためにもぜひともお願いしたいと思います。

そのほかよろしいですか。意見がないようでしたら、最後になりますが、本日の委員会資料の公開・非公開について確認したいと思います。

本日の会議に提出された資料につきましては、これまでどおりということになりますが、整備局のホームページに公開するということがよろしいでしょうか。どうもありがとうございます。

それでは、本日の資料一式については公開ということにしたいと思います。議事録につきましても速やかに公表するというようになっておりますが、事務局から説明をお願いいたします。

例年、議事概要等は私のほうで確認して、すぐに公表するということにしまして、詳細議事録につきましては皆様方にご確認いただいて、了解を得た上でホームページに公開するという対応を今までとっておりますが、いかがでしょうか。事務局、先走りしましたが、いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。先生がおっしゃられたとおり、速やかに作成し、委員長に確認して頂いた上で、公表させて頂きたいと考えております。

詳細な議事録については、後日、委員の皆様方にメール等で送付させて頂き、それぞれご確認頂きたいと考えております。いかがでしょうか。

浜岡委員長 皆様、ありがとうございます。それでは、議事概要につきましてはできるだけ早く私のほうで確認するということが進めさせていただきますし、議事録につきましては皆様方に1度確認をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、これで本日の議事は終了いたします。議事進行を事務局へ返します。

司会 浜岡委員長、並びに委員の皆様方におかれましては長時間にわたり大変ご丁寧にご審議を賜りまして、誠にありがとうございました。以上をもちまして社会資本整備審議会道路分科会第35回東北地方小委員会を閉会いたします。

以上